

## 課程修了者の日本語能力習得状況等

作成年月日:2022年04月06日

日本語教育機関名:ToBuCo専門学校

設置者名:学校法人中部いちい学園 印

課程修了者の日本語能力習得状況等	基準適合性
第44号:大学等への進学者,入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交・公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者及びCEFR・A2相当以上と認められる者の合計が、課程修了の認定を受けた者の7割以上	○

基準該当者割合 ②÷(①+③)	96.6%
課程修了者数(※1,※2)①	29
基準該当者合計数(実人数)②	28

左記「基準該当者合計数(実人数)」のうち退学者数(44号ただし書き)③	0
-------------------------------------	---

※1 退学者は含めない。

※2 各年度の課程修了の認定を受けた者が、その修了日までに入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交,公用及び技能実習を除く。)への在留資格変更許可申請をした場合において、当該申請に対する処分が、この号に基づく地方出入国在留管理局への報告までになされないときは、当該者を分母となる課程修了認定者の数に該当する者として加える必要はない。

## 基準該当者の各内訳

基準該当者の各内訳	日本語進学1.5年科			
※該当する要件が二以上ある生徒は、a～cのそれぞれに計上可。ただし、「基準該当者合計数(上記②)」は実人数を算出するため、当該生徒について重複を除き、一人として扱うこと。	a. 大学等への進学者の数 ※我が国での進学に限り、非正規生は除く。	28		
	b. 入管法別表第一の一の表若しくは二の表の上欄の在留資格(外交,公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者の数	0		
	c. CEFRのA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者の数 ※法務省HPに掲載された試験又は日本留学試験に限る。	25		

※CEFRのA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者(C)については、CEFRのA2相当以上のレベルであることを証明するための書類(試験の合格証等)の写しを本報告書と併せて提出すること。

## 基準該当者合計数(②)及び内訳(a～cのそれぞれの合計)の公表の方法

当校ホームページにて公表。

## 自己点検・自己評価

学校法人中部いちい学園  
T o B u C o 専門学校  
校長 多治見文雄

## 《評価》

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

## 1 教育理念・目標

1-1 教育理念は定められているか	5
1-2 教育目標は定められているか	5
1-3 学校の特色は何か	4
1-4 教育理念・目標に基づく教育が行われているか	5

## 課題と今後の改善方法

- ・社会人として総合的な力を高め、社会貢献や企業と連携を深め幅広いニーズに応えられるよう養成し、特色のある学校として大学や専門学校、企業に対応できる教育をさらに目指す。
- ・教育理念や目標の浸透を図り、学生の描く夢の実現に貢献できるサポートや信頼関係を目標とする。

## 2 学校運営

2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
2-7 危機管理体制は整備されているか	5
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

## 課題と今後の改善方法

- ・教育理念の下、毎年事業計画の策定を行い、課題と目標を掲げ定例会を実施している。
- ・各規定等は明確に整備されて、変更や改正に伴い対応している。

## 3 教職員

3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
3-3 教職員評価を行っているか	4

## 課題と今後の改善方法

- ・教職員間で教育内容を共有して、各学科の方向性を確認しております。

#### 4 教育活動

4-1	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
4-2	授業評価の実施・評価体制はあるか	5
4-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
4-4	成績評価は適切に行われているか	5
4-5	資格取得の指導体制はあるか	4

##### 課題と今後の改善方法

- ・カリキュラムを毎年精査して、学習の遅れや資格取得にを重視して試験対策を強化したい。
- ・成績評価は、各クラスごとに小テストや課ごとのテスト、さらに宿題などの日常点も加味して点数化している。

#### 5 学生支援

5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3	学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5	保護者と適切に連携しているか	4
5-6	卒業生への支援体制はあるか	5
5-7	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
5-8	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

##### 課題と今後の改善方法

- ・進学や就職指導を定期的に行い、説明会を増やして進路のサポートを重視した。
- ・特別支援として学費の減免や生活環境のサポートを実施して、さらに学生の心身サポートに対応出来るように環境改善を図る。

#### 6 在留管理と生活指導

6-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3	我が国の法令を順守させる指導を行っているか	5
6-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

##### 課題と今後の改善方法

- ・学生の在籍は、定期的に住居や電話番号、アルバイト先など変更手続きや支援を行っている。
- ・入国後のオリエンテーションでは、日本の法律や交通安全指導、生活指導などのサポートしている。

#### 7 学生の募集と受け入れ

7-1	学生の受入れ方針は定められているか	5
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	5

7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-4 入学選考は学納金は妥当なものとなっているか	5
7-5 適正な定員設定および在籍者になっているか	5

#### 課題と今後の改善方法

・募集活動は、現地教育機関や仲介業者と連携して情報交換を行い、面接試験で日本語力や留学理由、保証人の支弁能力も現地状況を理解して調査する。

### 8 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

#### 課題と今後の改善方法

- ・学校法人として長期実績があるので、財務基盤は安定している。
- ・財務会計は税理士事務所に委託しているため、公開は控える。

### 9 法令等の遵守

9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

#### 課題と今後の改善方法

- ・個人情報保護について、基本方針や取り扱い、情報漏えいに注意して適正に運営する。
- ・自己点検・自己評価の問題点を詳細にして、改善を行う。

### 10 社会貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4

#### 課題と今後の改善方法

- ・地域の方と交流する機会を増やして、ボランティア活動にも積極的に参加できるように支援をしていく。